

6月8日

トンガで生活してわかった日本との小さな違い

早いもので私がトンガに赴任して8か月以上が経ちました。観光ではなくその土地で生活することによってわかる日本との違い、日本との共通点なども見えてきました。

トンガという小さい国特有の政治・経済的な問題はたくさんありますが、ここでは私が面白いなど日常感じていることを少しご紹介します。

- ・ **ラジオなどで流れる曲がオリジナルの歌手によるものではなく、無名の歌手によるものが多い。**
(例えばビートルズ、プレスリー、トム・ジョーンズなどの曲がよくラジオから流れるのですが、ほとんどの曲がオリジナルではなく、別な歌手が歌っているものです。ラジオ局が支払う曲の使用料(著作権?)の問題なのでしょうか。)
- ・ **雨が降っても洗濯ものを取り込まない。**
(トンガのおばさんたちは、洗濯ものを干したら雨が降っても槍が降っても乾くまでは絶対に取り込みません。晴れた日にも突然のシャワーがあることが多いので、いちいち取り込んでいると面倒くさいということもあるのですが、大雨に濡れた洗濯物を見ていると、もう一度洗いなおしたほうが良いのではないかと余計なことを考えてしまいます。ですから、3~4日間干しっぱなしというのはあたりまえ。トンガでは雨水はきれいなものと考えられているようです。飲料水もほとんど雨水ですから。)
- ・ **路線バスが運行の途中でガソリンスタンドに寄って給油する。**
(お客さんが乗ったまま、ガソリンスタンドに停車しているバスをよく見かけます。毎回決まったガソリンスタンドで給油しているようです。運行前に給油すればよいと思うのですが・・・。そういえば先日空港までタクシーを利用したのですが、途中のガソリンスタンドでエンジンオイルの交換をしたのには驚きました。出発時間まで余裕があったので焦らずに済みましたが、時間に余裕がないときには勘弁してもらいたいものです。)
- ・ **バスの時刻表・路線図がない。**
(時刻表と路線図がないので、初めての土地へバスで出かけるのがとても難しいです。バスに乗る人はほとんどが地元で通勤通学に使う人なので、時刻表や路線図がいらぬのかもしれませんが。バス停の標識はありますが、バス停でなくても手を挙げると停まってくれるという話を聞いたこともあります。私は一度だけ勇気を出してバスを利用したことがあります。このバスならこちらの方向に行くはずだと目星をつけ、運転手に「〇〇に行きたいから近くで降ろしてください。」とお願いして乗りました。時刻表がないので、次のバスがいつ来るのかもわかりません。終バスは夕方5時頃と聞きました。夕方バスを待っていても次の日の朝までバスが来ない可能性もあります。ボランティア隊員で、バスが来るのを2時間以上待っていた人もいます。)
- ・ **職場の昼食が不規則で、決まった昼休みがない。**
(昼食を食べない日もあります。パンにバターをたっぷり塗って食べる日もあります。鳥肉とインスタントラーメンを煮込んで食べる日もあります。市販のクッキーだけをつまむ日も

あります。基本的には職員の誰かが全員の分を用意します。ですから誰も昼食を持ってこない日は昼食がありません。また、決まった昼食休憩時間也没有ありません。11時に食べる日もあれば、2時に食べる日もあります。9時頃に朝食代わりにパンを食べ始める人もいます。私もたまにカップラーメン等を全員分持って行ったりしますが、毎日昼食がどうなるかが職場の心配の種です。)



私が勤務する気象局（飛行場に隣接）から撮った写真です。私の住むトンガタブ島は標高が40m以下の平坦な島です。晴天で風が弱い日には、島の形に沿って島の中央部に積雲の列ができることがあります。